Chromebook DNS-Onlyクライアントのセキュリティの診断ログの取得

内容

はじめに

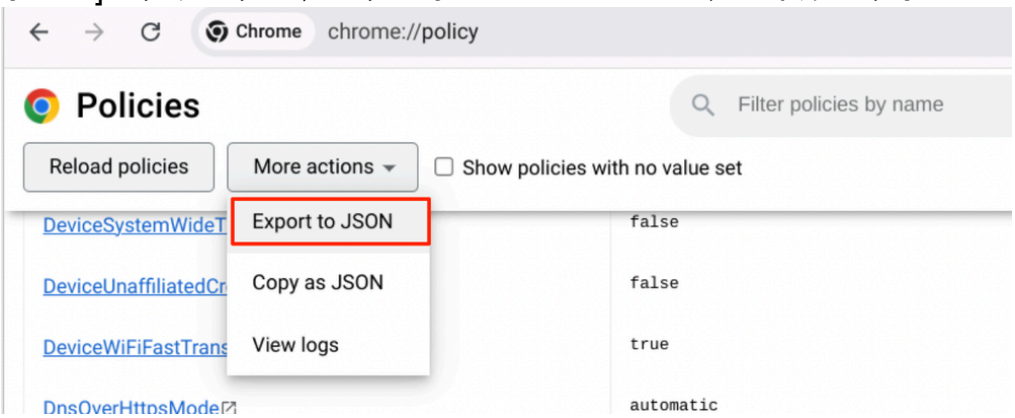
このドキュメントでは、トラブルシューティングとサポートを目的として、Cisco Security for Chromebook（DNSのみ）クライアントから診断ログを取得する方法について説明します。

概要

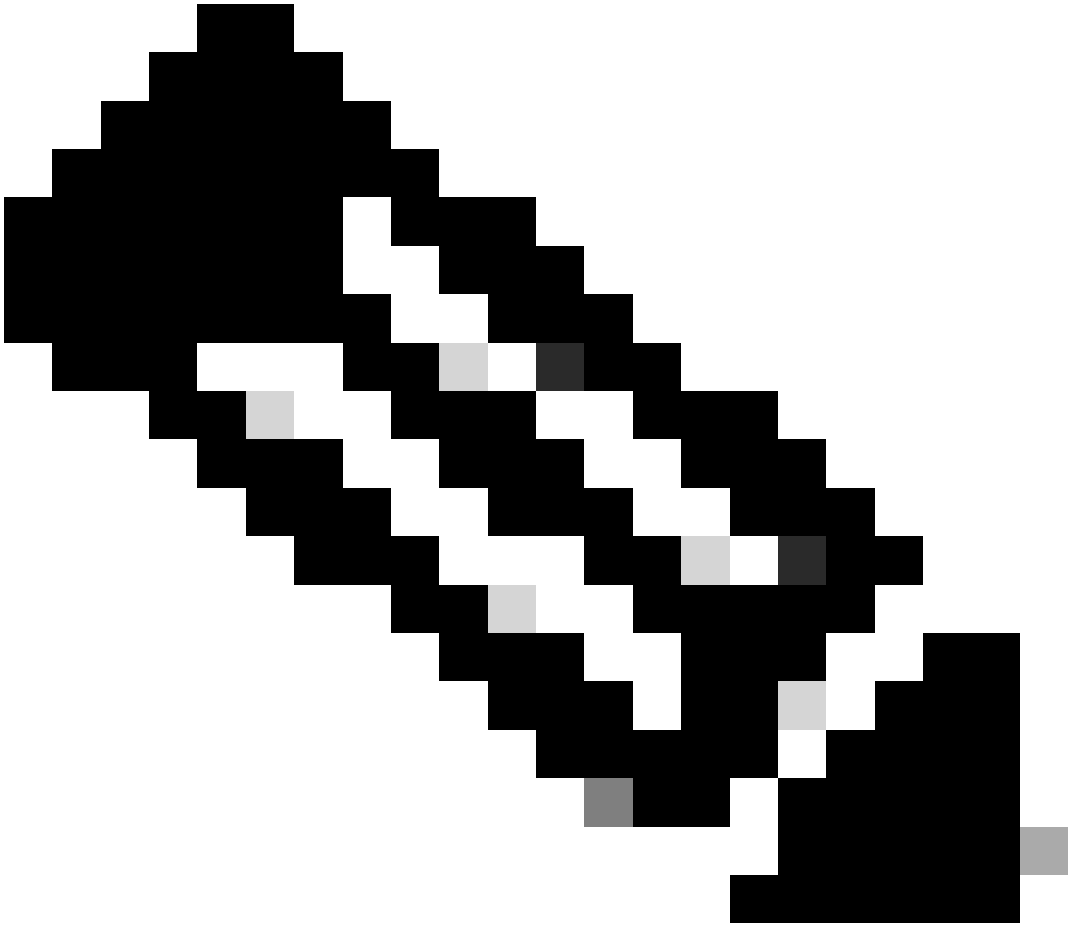
このガイドを使用して、DNS over HTTPS(DoH)テンプレートを使用して、DNSレイヤ保護を備えたSecurity for Chromebook(SCOS)バージョン2.1.1から診断および設定情報を収集します。Umbrellaサポートは、トラブルシューティングを支援するためにこの情報を要求することがあります。

設定および現在のステート情報の取得

1. Chromeブラウザを開き、tohttps://policy-debug.checkumbrella.com/に移動します。
    - ページの下部にある診断情報をコピーして、サポートに送信します。
2. Openchrome://ポリシングについて説明します。
    - [JSONにエクスポート]をクリックし、エクスポートされたJSONファイルをサポートに送信します。



Extension Console（「Console」タブ）で次のコマンドを入力して、状態情報を収集します。

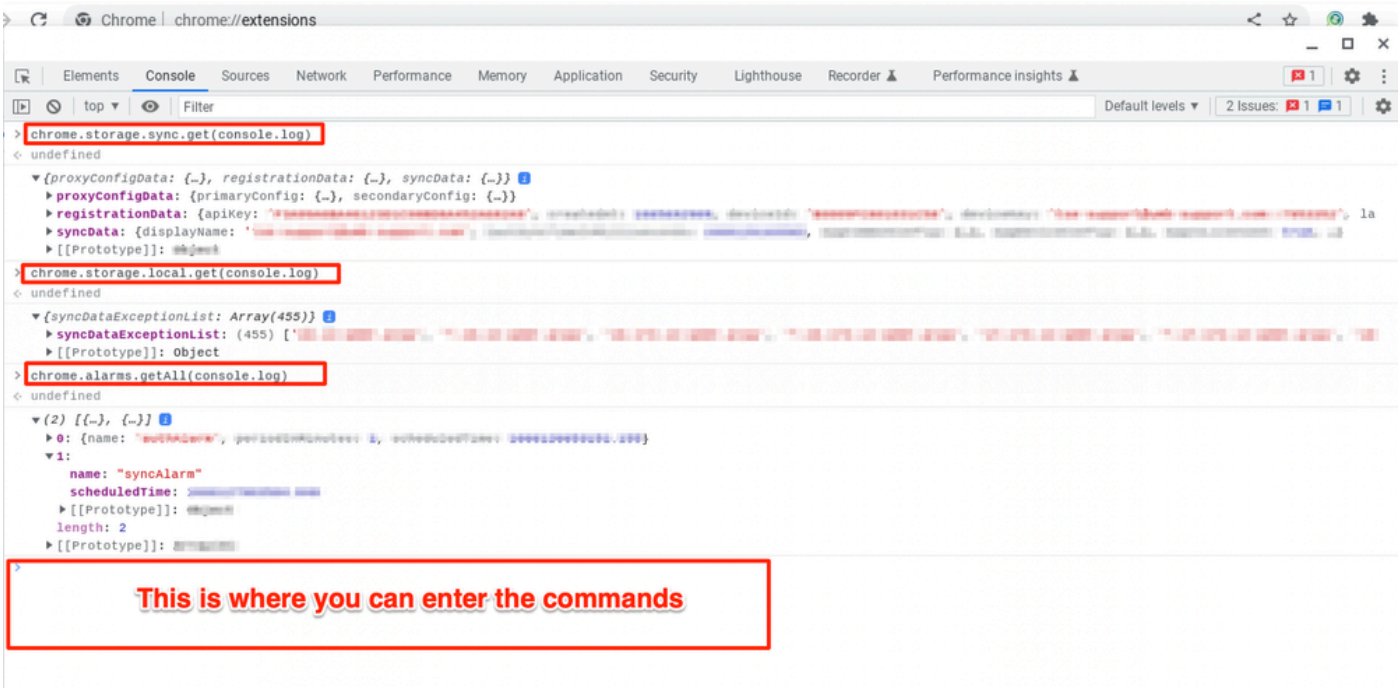


注：この手順を実行するには、を有効にして[Extension Console]タブにアクセスする必要があります。詳細については、「デバッグの手順」のセクションを参照してください。

- 登録、同期、プロキシデータの場合：

  chrome.storage.sync.get(console.log)
- ドメイン例外を取得するには（内部/外部）：
  chrome.storage.local.get(console.log)
- 同期、認証、およびその他の機能に対する次のアラーム時刻を取得するには、次の手順を実行します。
  chrome.alarms.getAll(console.log)

コンソール出力を保存するには、コンソール内を右クリックし、SaveAsをクリックします。エクスポートしたログファイルをサポートに送信します。

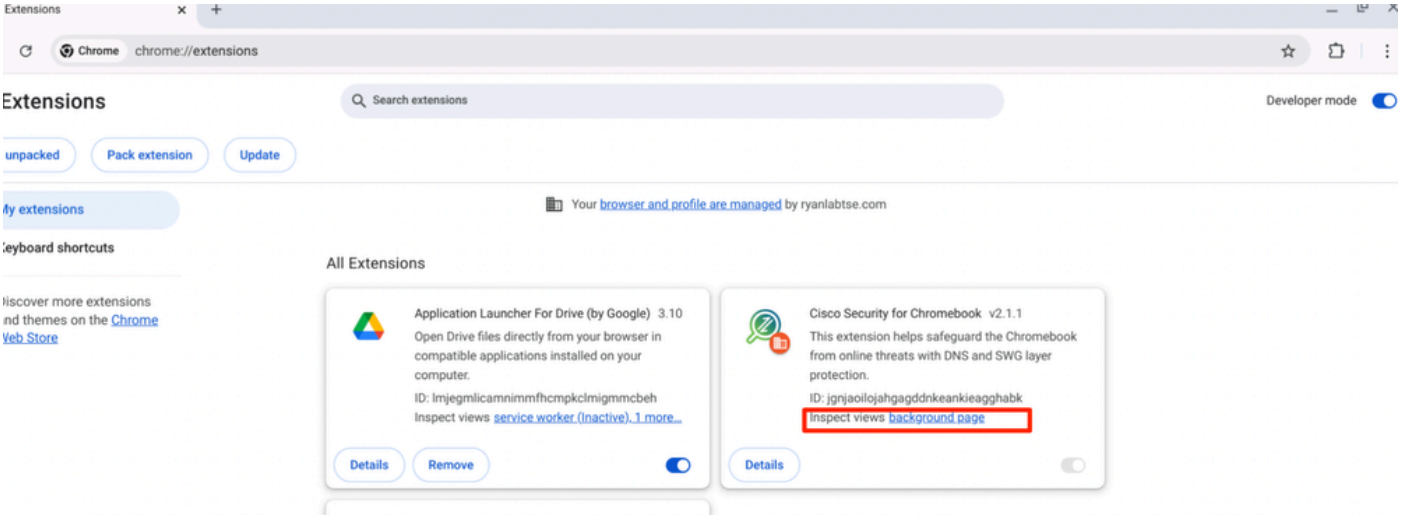


拡張コンソールの出力例を示すスクリーンショット。

Extension Consoleタブを有効にする

Extension Consoleタブを有効にする手順については、Umbrellaのドキュメント「Cisco Security for Chromebook Client：デバッグ手順」の「デバッグ手順」を参照してください。

次のスクリーンショットは、Chromeの拡張ページと、拡張コンソールを開くことができる「ビューのバックグラウンド検査ページ」へのリンクを示しています。



Chromebook SWGクライアントの診断ログの取得

Security for Chromebook(SWG)クライアントの診断ログを取得するには、「Umbrella Chromebook Clientからの診断ログの取得」を参照してください。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。